

平成23年度

児童用

「ゆうチャレンジ」(熊本県学力調査)

小学校 第5学年 社会

- 先生のはじめの合図で始めてください。
- 問題用紙は、4枚あります。
- 答えは、問題用紙の「解答らん」に書いてください。

学校名	
-----	--

年組番	
名前	

熊本県教育委員会

1 米づくりについて学習しているはるかさんは、下のような新聞記事を見つけてきました。

**肥後町産ヒノヒカリ「おいしさ特A」**  
**味と安全 こだわり実る**

熊本県肥後町で生産された「ヒノヒカリ」は、2010年に全国でとれた米のおいしさコンテストで、最高の「特A」に選ばれた。3年連続で5回目。コンテストでは、「味」、「かおり」、「ねばり」などをもとに審査をし、「コシヒカリ」（新潟）、「ひとめぼれ」（山形）などの20点が「特A」になった。

J A肥後支所では、「肥後川の豊富な水や、米づくりに適した土地、昼と夜の気温差など恵まれた条件にくわえ、おいしい米をつくりたいという農家のとりくみが実をむすんでいる。」と話している。

※「特A」は、5段階評価の中で、一番良い評価。

(1) はるかさんは、この記事を読んで、新潟県や山形県でもおいしい米がつかれているということを知り、下のように調べてみたいことを考えました。





熊本県肥後町では「ヒノヒカリ」、新潟県では「コシヒカリ」、山形県では「ひとめぼれ」という品種が、「特A」になっているけど、他にどのような品種が「特A」になっているのだろう。

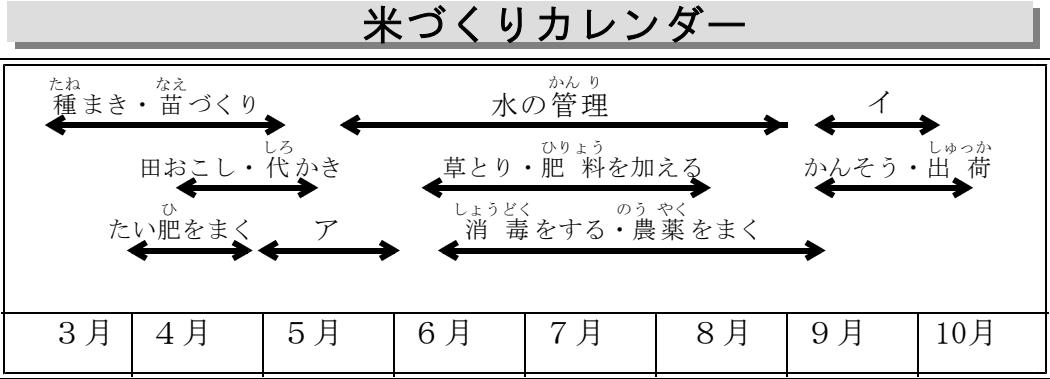
あなたも、この新聞記事を読んで、調べてみたいことを書きましょう。

①

(2) はるかさんのクラスでは、学校で米づくりをしました。下の「米づくりカレンダー」の中から、( )にあてはまる言葉を選んで書きましょう。

A  A まず、たがやした田んぼに( )を入れて、土とよくまぜました。②

B  B その後、田んぼに水を入れて、どろどろにした土をきれいになりました。この作業を( )といいます。③



(3) はるかさんは、機械を使うことによって米づくりの作業の時間が短くなり、能率もあがることを学習しました。下の写真の機械が使われるのは、「米づくりカレンダー」の中のア・イの作業です。何という作業でしょう。



ア ( ) ④



イ ( ) ⑤

(4) これからの米づくりで、あなたならどのような米をつくりたいですか。  
つくりたい米とその理由を書きましょう。

○つくりたい米（）

○理由

⑥

2 はるかさんのクラスでは、とれた米で「おにぎりパーティー」を開き、給食の先生をしょうたいしました。給食の先生は、給食で使われる材料について、下のように話してくれました。

給食の先生：「給食の材料のほとんどは国産です。しかも、できるだけ学校の近くでとれたものを使うようにしています。今日のお米は、『学校産』ね。自分たちの住む地域でとれたものを食べることを『地産地消』<sup>ちさんちしょう</sup>とって、よいことがあるのですよ。」

はるか：「どんなよいことがあるのですか。」

給食の先生：「」

(1) 給食の先生は、どんなことを話したのでしょうか。下を書きましょう。

給食の先生：「たとえば、  
()  
というよいことがあります。」

⑦

けんじ：「給食で使う材料の中で、輸入したものにはどんなものがありますか。」

給食の先生：「たとえば、イカ・エビ・サバなどの魚介類<sup>ぎょかいりい</sup>です。」

けんじ：「えっ！日本は周りを海にかこまれているのに…」

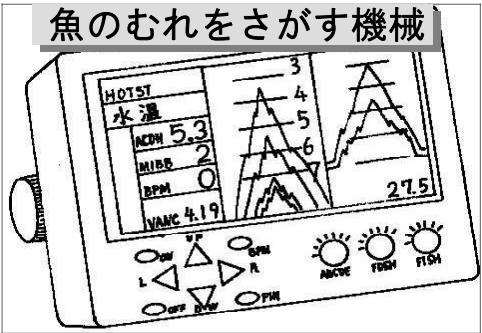
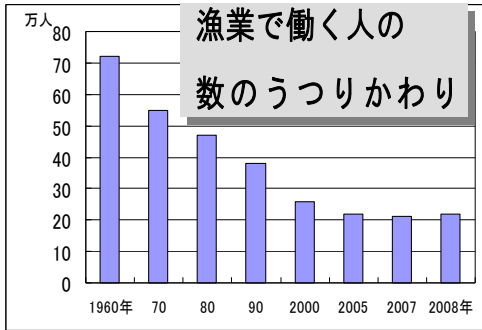
給食の先生：「国内産の魚介類は生産量が減り費用が高くつくなどして値段<sup>ねだん</sup>が高くなるので、給食では使えないことも多いのです。」

(2) 国内産の魚介類の生産量が減った理由と、関係のある資料を線でむすびましょう。

ア 世界の国々が、自分の国の水産資源<sup>しげん</sup>を守るために、外国の漁船がとる魚の種類や量<sup>せいりょう</sup>を制限するようになったため。

イ 漁業<sup>ぎょぎょう</sup>の技術<sup>ぎじゆつ</sup>が進歩して近海の魚をたくさんとりすぎて、水産資源が減ってしまったため。

ウ 漁業で働く人が減ってしまったため。



⑧

③ あきらさんとはるかさんは、日本の食料生産について調べていると、パンフレットで下のような資料を見つけました。

もしも、食料の輸入が止まったとしたら、こんな食事になります

朝食のメニュー例

ごはん1杯 焼きいも2本 つけもの1皿

夕食のメニュー例

ごはん1杯 こふさいも1皿 焼き魚1切

うどん (2日に1杯)

牛乳 (6日にコップ1杯)

みそ汁 (2日に1杯)

たまご (7日に1個)

納豆 (4日に3パック)

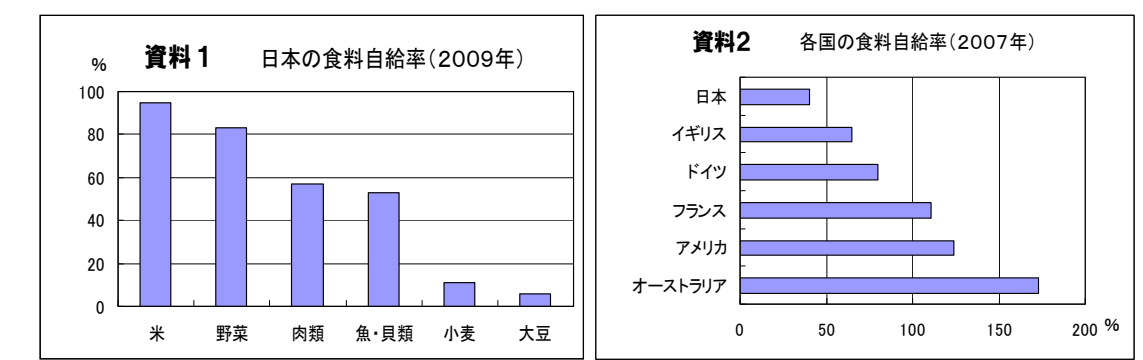
肉 (9日に1食)

資料：農林水産省「いちばん身近な『食べもの』の話」から作成

えっ！朝食に焼きいもを食べるの。それに、毎日給食に出ている牛乳が6日にコップ1杯だけになるなんてこまるなあ。どうして、こんなことになってしまうのか調べてみよう。

(1) 二人は、日本の食料自給率について調べました。日本の食料自給率について、資料1、2のグラフからそれぞれ分かることを書きましょう。

※食料自給率とは、必要な食料のうちどれだけを国内で生産しているかという割合のこと。



資料：農林水産省ホームページから作成

⑨

(2) はるかさんは、食料自給率について調べた後、次のような意見を出しました。

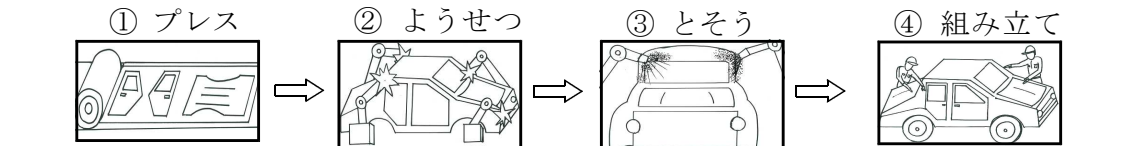
世界には、食料不足で苦しんでいる人たちがたくさんいると聞きました。食料自給率が低く、食料を輸入にたよりつづけていると、いろいろな問題がおきてくると思います。

食料自給率が低いと、どんな問題がおきてくると思いますか。あなたの考えを書きましょう。

⑩

④ はるかさんのクラスでは、自動車の組み立て工場へ見学に出かけました。

(1) 自動車がつくられる作業の順番は、次のとおりでした。



次の説明は、①～④のどの作業にあたりますか。番号で答えましょう。

- 車体にメーターやランプ、エンジンなどを取りつけます。また、シートやガラスなども取りつけます。 ⑪
- 機械で鉄の板を打ちぬいたり、曲げたりして、車体のドアやボンネットなどの部品をつくります。 ⑫
- 車体をきれいにあらったあと、色のぬりつけを3回くり返し、きれいにぬり上げます。 ⑬

(2) (1)の「②ようせつ」や「③とそう」の作業では、ロボットが活躍していました。ロボットが作業をしているわけを2つ書きましょう。⑭

○

○



(3) はるかさんは、自動車の部品がとても多いことにおどろき、工場の人にたずねました。



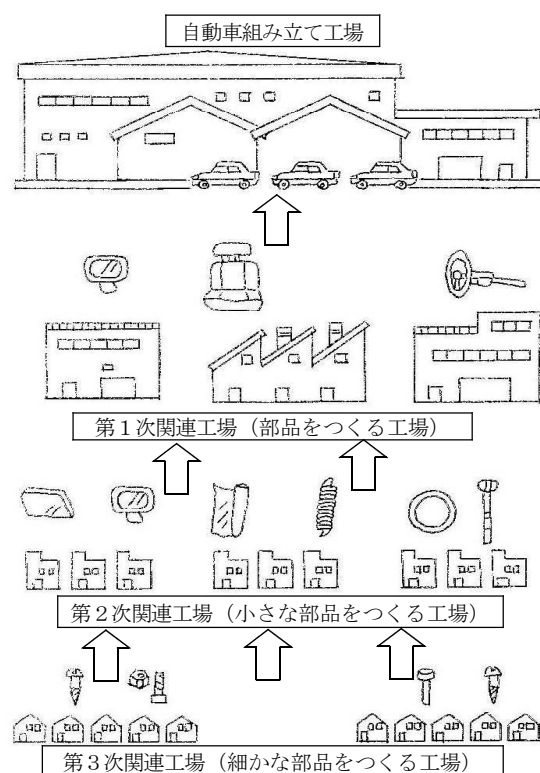
1 台の自動車で何個の部品が必要なんですか。

約 2 万個から 3 万個くらいだよ。この図を見てごらん。



工場の方は、下の「自動車組み立てに関連する工場」の図を見せながら、たくさんの部品がどこでつくられているのかを説明してくださいました。工場の方の話のア～ウにあてはまることばを書きましょう。

### 自動車組み立てに関連する工場



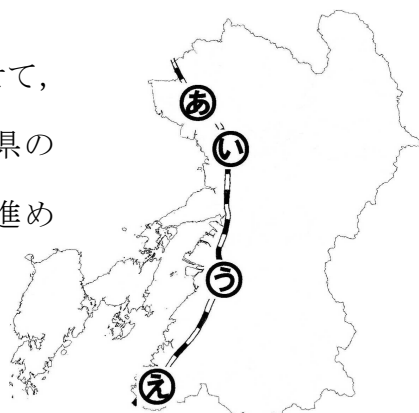
### ＜工場の方の話＞



1 台の自動車をつくるためには、約 2 ～ 3 万個ものア  が必要です。これらは、組み立て工場の近くにある多くのイ  でつくられています。組み立て工場の注文どおりに、決められた時間内にとどけてくれます。組み立て工場とイ  は、ウ  し合って自動車をつくっています。

⑮ ⑯ ⑰

- ⑤ くまもと <sup>しんかんせん</sup> 熊本県では、九州新幹線の全線開業にあわせて、「くまもとサプライズ」を合い言葉に、熊本県の特色やよさを他県の人に知ってもらう運動が進められています。



(1) あきらさんは、地図帳を使って、熊本県内にある新幹線の 4 つの駅 <sup>えき</sup> について、その地域の特色を調べました。下の説明に合う地域を、地図中の①～④から選んで書きましょう。

- ⑮ <sup>えづこ</sup> 江津湖や水前寺公園などでは、地下から水がわき出ています。
- ⑯ <sup>かんたくち</sup> 干拓地を利用した農業がさかんで、い草とトマトの生産高は日本一です。
- ⑰ <sup>ぶんべつしゅうしゅう</sup> ごみの分別収集 <sup>にんてい</sup> に取り組み、国の環境モデル都市に認定されました。
- ⑱  古くからの温泉があり、いちご、みかん、のりが特産品として有名です。

(2) あきらさんは、熊本県のよさについて「熊本県のじまん」として、水をテーマに下の例のようにまとめました。あなたも、次のテーマの中から一つ選んで、熊本県の特色やよさを他県の人に紹介しましょう。

例 テーマ「水」 熊本県は、きれいで豊富 <sup>ほうふ</sup> な地下水にめぐまれていて、熊本市では、水道水をすべて地下水でまかっています。県内には、名水百選 <sup>めいすいひゃくせん</sup> に選ばれたところが 8 か所もあります。

＜テーマ＞ 農業 林業 水産業 工業 伝統や文化 自然

⑳

熊本県のじまん テーマ「  」